

第24期第2回常任理事会議事録

日時 昭和61年10月6日(月) 13:30~17:20

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元, 関口, 中村, 河村, 村上, 竹内, 荒川,
山川, 浅井, 重原, 松野, 能登

議題

A 報告事項

[天気]

10月号の目次および11月号の予定内容が示された。
また、内容の強化について次のような報告があった。

- (1) 従来の項目の内容を充実化する。
- (2) 情報を極力掲載する。
- (3) 地区編集委員の活発な活動をお願いする。
- (4) 気象庁で発行している雑誌(定期刊行物を除く)の目録をもらうよう依頼した。
- (5) 解説がむづかしくなっているため、やさしい解説を質疑応答・会員の広場等で行う。

[学術用語]

- (1) 学術用語集気象学編(改訂版)が出版されるまでは第23期の委員を継続する。出版された時点で委員の構成を含め今後のことを委員会を開いて検討したい。
- (2) 校正を青戸氏(学術情報センター)に依頼した。謝金について予備費からの支出をお願いしたい。本件については印税が入る予定であり、最終的には負担はかからない。

B 審議事項

1. 奨励金について

昭和61年度日本気象学会奨励金受領候補者の全理事による投票が行われた結果は次のとおりである。

受領候補者	可	否	棄権
大奈 健会員	26	0	1
江上 公会員	26	0	1
半田 孝会員	26	0	1
瀧島幸市会員	25	1	1

これにより、上記4会員が奨励金受領者に決定したことが確認された。

2. 著作物使用許諾料の徴収について

日本科学技術情報センターから、気象集誌の英文抄録利用について、使用の更新申請があり、その際、使用許諾料を支払うとの申し出があった。検討の結果、申し出

を受け許諾料は雑収入として処理することで承認された。

今後の課題として著作権およびその使用を有料で許可するかどうかについては庶務、総合計画各担当理事および各編集委員会で検討してゆくことが了承された。

3. 出版物の整理について

気象学会出版物の在庫品処分について、常任理事会で検討の結果、次のような方針で処分することが承認された。

- (1) 10年以前(昭和52年以前)のものは3部を残して処分する。(もしくは希望者に販売する)
- (2) 10年以後(昭和53年以降)は処分の対象としない。
- (3) 「天気」・「気象集誌」・「気象研究ノート」などで学会事務局の製本に欠号があるものは補充する。

4. 昭和62年度予算案および事業計画案について

- (1) 庶務, 天気編集, 気象集誌編集, 講演企画, 国際学術交流の各委員会から増額要求について説明があり、これらの要求を盛り込んだ予算案を作成し、今後更に常任理事会および理事会で検討してゆくことが了承された。
- (2) 支部から要求のあった全国理事会の費用の増額については了承された。
- (3) 会計担当理事から各委員会に渡している費用の会計報告を年度末に会計(事務局)に提出することが了承された。
- (4) 基金利息の残額を年度末に基金に繰入れることを検討する。

5. 第24期第2回理事会の議題について

検討の結果、次の事項を議題にすることが了承された。

- (1) 学術会議会員の選出方法について
- (2) 国際学術交流基金の寄付金について
- (3) 昭和62年度予算案について
- (4) 事務局員を統轄する事務総長を設ける件について
- (5) IAMAP 総会(1993)の招致について
- (6) その他

6. 事務機械化について

パソコンに入力するデータを全会員から集める方針が了承された。

7. 会員の新規加入の承認について

個人会員谷口治義ほか2名の新規加入が承認された。